科目ナンバリング	U-LAS02 10013 LJ37				
授業科目名<英訳>	言学Ⅰ The Science of Language Aspect of the Japanese Language I		担当者所属職名・氏名	非常勤講師 前田　広幸	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本語の音声音韻について基礎的な知識を習得することを目的とする。言語類型論的観点から日本語の特徴をみるため、日本語以外の言語のデータを扱うことがある。

[到達目標]

日本語の音声音韻の基礎的な事項について、言語類型論をふまえた説明をおこなえること。

[授業計画と内容]

1　日本語の音声音韻に関する素朴な疑問
2　五十音図と音韻体系
3　モーラと音節
4　アクセント体系
5　アクセントとイントネーション
6　言語の（多）線状性　―掛詞の表記と音声実現からみる―
7　日本語のリズムとフット
8　音声分析ソフトpraatの利用法
9　平曲譜本の墨譜へのアクセントとイントネーションの反映
10　借用語音韻論
11　複合語形成に関する（非）連濁“規則”とアクセント規則
12　言い誤りと言語遊戯の分析
13　発話の緩急とポーズの分析
14　まとめ・確認試験
15　フィードバック

講義の順序と内容の予定は上の通りであるが、受講生の理解度にあわせて順序・内容を入れ換えたり一部を省略することがある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義期間の最終日におこなう基礎的事項の確認試験（80%）と、それまでに適宜出す課題・毎回の授業への積極的参加度（20%）により評価する。

[教科書]

プリントを配付する

言学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

言学Ⅰ(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

講義中に次回までの課題を指示した場合は、指示に従い予習してくること。
それまでの授業で説明した事項の理解を前提に授業をすすめていくので、理解が十分でないと思われる箇所がある場合は、復習をしっかりおこなうこと。

[その他（オフィスアワー等）]

非常勤講師のためオフィスアワーはないが、質問等は、授業終了後またはＥメール（maedah@cc.nara-edu.ac.jp宛；件名に「言学」の文字列を含めること）にて受け付ける。

[主要授業科目（学部・学科名）]